

監査報告書

2024年5月25日

特定非営利活動法人 愛コープ
理事長 高取昭夫 殿

監事 佐野伸子
監事 熊澤朋子

1、 監査概要

私たちは2024年5月25日 高取理事長、加藤総務統括および日本総務担が立ち合いのもと、特定非営利活動法人愛コープの2023年度（2023年4月1日～2024年3月31日）の決算書類（貸借対照表、損益計算書、付属明細書、年度末銀行口座残高、小口現金照合）と事業報告、理事の業務執行状況、2023年度経営総括の監査、ヒアリングをおこないました。

2、 監査意見

（1） 決算書類について

貸借対照表、損益計算書、付属明細書は公正妥当な方法で作成され、特定非営利活動法人愛コープの資産状況、収支の状況を正しく示しているものと認めます。

（2） 理事の業務執行状況について

理事は法令、定款に従い総会方針に沿った業務執行がなされたことを認めます。

所見

- 1、 新型コロナは第5類に移行し、行動規制は大幅に緩和されました。法人活動時間は計画には未達でしたが、前年を大きく上回り、事業高も前年比較105%伸びたのは、感染症予防に努めながらも組織一丸となって活動時間数を増やす取り組みに努力した結果だと思えます。
- 2、 年度初頭、訪問介護員による経済的虐待という不祥事がありました。組織の信用を失墜させる案件であり決して起こしてはならない事件です。組織として再発防止のために様々取り組んできました。職員の方々はこれからも高い意識を持って業務に当たっていただけるものと信じています。
- 3、 前年度より経営会議を本格的に始動させ、運営体制は世代交代を見据え、理事会は若い世代中心になってきています。今年度から事業統合も進み、これからは意欲ある若い力を積極的に経営に生かし、愛コープのさらなる発展に繋げることを期待します。